

第3次 令和8(2026)年度 令和 17(2035)年度

# 西尾市環境基本計画

概要版



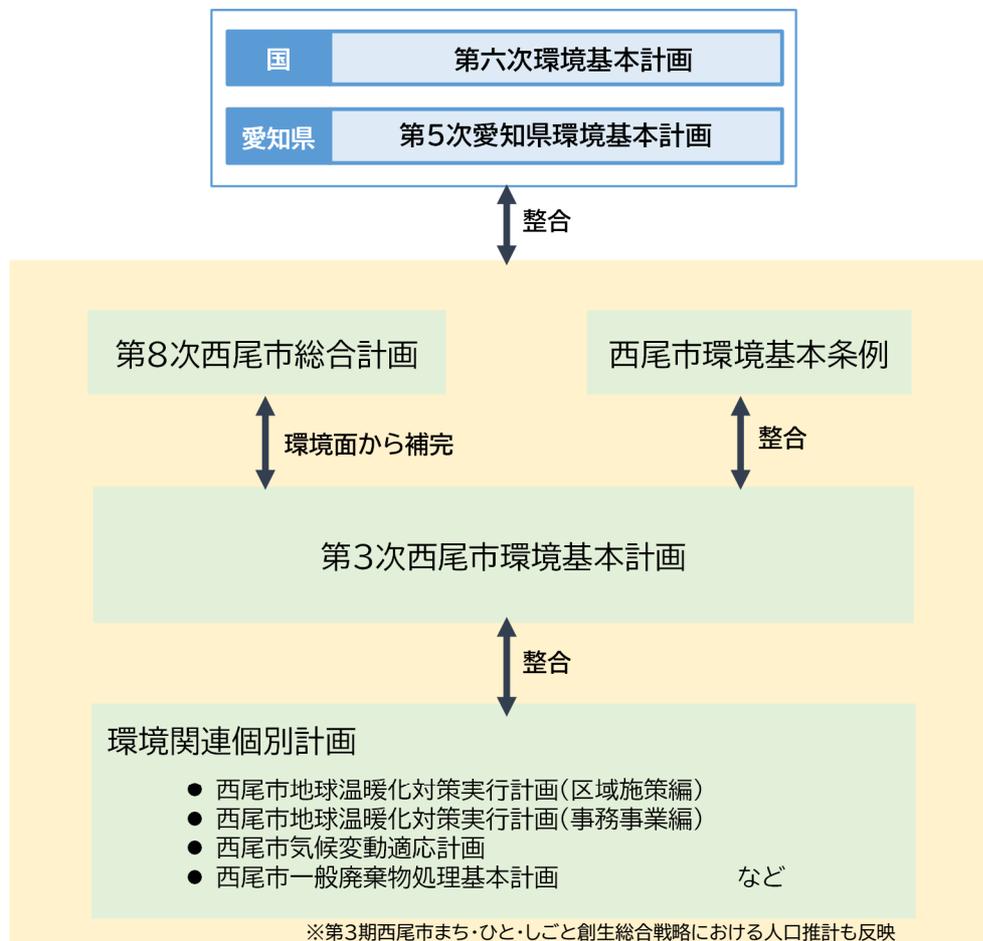
快適な暮らしと豊かな自然を未来へつなぐ  
みんなで作る持続可能なまち にしお

令和8(2026)年3月

 西尾市

## 計画の位置づけ

- ▶ 本計画は、西尾市環境基本条例に基づき、環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために定めるものです。
- ▶ 国の「第六次環境基本計画」や愛知県の「第5次愛知県環境基本計画」を踏まえつつ、本市の最上位計画である「にしお未来創造ビジョン(第8次西尾市総合計画)」を環境面から補完し、個別分野の計画とも連携・整合を図る本市の環境のマスタープランです。



## 計画期間

- ▶ 令和8(2026)年度から令和17(2035)年度までの10年間とします。

## 各主体による連携した取組

- ▶ 市民、事業者、市などあらゆる主体が連携して取組を推進します。



## 目指す環境ビジョン

- ▶ 前計画との継続性を念頭に置きつつ、令和12(2030)年のSDGs目標の実現を意識し、目指す環境ビジョンを以下のとおり設定します。

快適な暮らしと豊かな自然を未来へつなぐ  
みんなで作る持続可能なまち にしお

## 環境ビジョンの実現に向けた5つの柱

- ▶ 環境ビジョンを実現するために、前計画の考え方を生かしつつ、国の「第六次環境基本計画」の重点戦略や昨今の国内外の動向を踏まえて、以下の5つの柱に分けて取組を進めます。

1

### 脱炭素・暑さへの適応

脱炭素と技術革新で地域産業が発展するまち

2

### 資源の循環・有効活用

リユース・リサイクルが浸透し資源が循環するまち

3

### 自然との共生・ふれあい

豊かな自然を生かした魅力の溢れるまち

4

### 地域への愛着・快適さ

安全安心な暮らしと地域への誇りが感じられるまち

5

### みんなで連携・協働・共進

市民・事業者・行政・地域団体等がつながるまち

# 環境ビジョンの実現に向けた5つの柱

▶ 環境ビジョンとその実現に向けた5つの柱及びSDGsの実現との関係性について、市民・事業者にイメージをつかみやすいよう、わかりやすく整理しました。



## 脱炭素・暑さへの適応

**脱炭素と技術革新で地域産業が発展するまち**

省エネ行動の浸透      太陽光発電・蓄電池等の活用      暑さへの適応



## 資源の循環・有効活用

**リユース・リサイクルが浸透し資源が循環するまち**

分別の推進      プラスチックごみ対策の推進      不要品の生ごみのたい肥化      リユース推進



## 自然との共生・ふれあい

**豊かな自然を生かした魅力の溢れるまち**

森林保全 竹林整備      藻場の保全      生物多様性の保全

快適な暮らしと豊かな自然を  
未来へつなぐ  
みんなでつくる  
持続可能なまち  
にしお



## 地域への愛着・快適さ

**安全安心な暮らしと地域への誇りが感じられるまち**

公園緑地の魅力向上      公害防止の推進      交通便利性の向上



## みんなで連携・協働・共進

**市民・事業者・行政・地域団体等がつながるまち**

学校等での環境教育推進      各主体間による連携      市民参加型環境イベント



## 将来の目指すべき姿

### 脱炭素と技術革新で地域産業が発展するまち

- ▶ 脱炭素社会の実現に向けた機運が高まり、温暖化対策(緩和策・適応策)が加速しています。
- ▶ 新技術の活用などにより、省エネルギー対策や再生可能エネルギーの導入が推進され、市民生活は脱炭素型のライフスタイル、事業活動は脱炭素経営が定着しています。

## 管理指標

管理指標の項目	令和17年度	現状
住宅用ソーラーパネルの設置数 ☆	12,065 戸	8,618 戸 ※令和5年度
省エネルギー行動に取り組んでいる市民の割合 (うち小中学生の割合)	76% (71%)	56.7% (48.6%)
夏場の過ごしやすさに対する市民の満足度	20%	17.2%
地球温暖化による暑さに備え、熱中症対策をしている市民の割合	94%	83.8%

※☆印の項目は毎年度、数値を把握し、その他の項目は中間見直し時等に数値を把握します。  
※現状の市民の割合及び満足度は令和7年度のアンケート調査の値

## 主な施策 ★:新規施策

### ① 意識改革・行動変容

- ▶ 環境Wave21など環境イベントによるPR
- ▶ 三河湾の自然環境を生かした住む人・来る人の行動変容★
- ▶ 環境負荷を示す「環境ラベル」の認知向上の取組★

### ② CO<sub>2</sub> 排出量の削減

- ▶ 中小企業向けSBT認定支援★
- ▶ 太陽光発電設備・蓄電池の導入促進★
- ▶ 次世代自動車の導入支援

### ③ 温暖化への適応

- ▶ 熱中症対策の注意喚起
- ▶ クーリングシেলターの周知・拡大★
- ▶ 災害に備えた連携の強化



統一省エネラベルを参考に  
省エネ性能の高い家電の購入



クーリングシェルター  
啓発チラシ



## 将来の目指すべき姿

## リユース・リサイクルが浸透し資源が循環するまち

- ▶ ごみの分別が浸透し、生ごみ等はたい肥化して有効活用されています。また、焼却ごみは、ごみの持つエネルギーを地域内で温水プールなどに有効活用されています。
- ▶ 海岸や河川では清掃活動が実施され、プラスチックごみなどが減少し、美しいまちが形成されています。

## 管理指標

管理指標の項目	令和17年度	現状
1人1日当たりの家庭ごみ排出量 ☆	令和8年度に 目標値を設定予定	556g ※令和5年度
資源物リサイクル率 ☆	令和8年度に 目標値を設定予定	17.1%
生ごみの削減に取り組んでいる市民の割合	81%	58.2%
ペットボトルなどプラスチックごみを減らす市民の割合 (うち小中学生の割合)	83% (85%)	68.6% (72.2%)

※☆印の項目は毎年度、数値を把握し、その他の項目は中間見直し時等に数値を把握します。  
※現状の市民の割合は令和7年度のアンケート調査の値

## 主な施策 ★:新規施策

## ① ごみの減量・適正処理

- ▶ ごみの分別の徹底
- ▶ ごみステーションや常設資源ステーションの整備
- ▶ ごみ処理の広域化

## ② ごみ資源の有効活用

- ▶ ごみ処理の際に発生する熱源を有効利用★
- ▶ 生ごみの堆肥化
- ▶ 紙おむつの資源化★

## ③ プラスチックごみ対策の推進

- ▶ 使い捨てプラスチックの削減★
- ▶ 食品トレイやペットボトル等のリサイクル推進
- ▶ プラスチック使用製品の分別収集の推進★



EM菌を使ったぼかしによる  
生ごみのたい肥化の推進



これまで燃えるごみとしていた  
プラスチック製品も資源化

## 将来の目指すべき姿

## 豊かな自然を生かした魅力の溢れるまち

- ▶ 澄みわたる空、澄んだ川、豊かな海や里山があるまちが実現しています。環境保全型の農業が進んでいて、地産地消や食育活動が活発に行われています。
- ▶ 自然や生き物との触れ合いが盛んになると同時に、特定外来生物の防除が進むことで地域固有の生物が保全されるなど自然環境及び生物多様性の保全、回復が進んでいます。

## 管理指標

管理指標の項目	令和17年度	現状
西尾いきものふれあいの里の利用者数 ☆	18,600人	16,614人 ※令和5年度
家庭や地域で緑を育てている市民の割合	74%	59.3%
地元でとれた食材を食べる市民の割合 (うち小中学生の割合)	88% (78%)	71.3% (53.4%)
自然や生き物に優しくする市民の割合 (うち小中学生の割合)	80% (85%)	68.8% (76.1%)

※☆印の項目は毎年度、数値を把握し、その他の項目は中間見直し時等に数値を把握します。  
※現状の市民の割合は令和7年度のアンケート調査の値

## 主な施策 ★:新規施策

## ① 豊かな自然環境の保全・ふれあいの場の創出

- ▶ 干潟の保全
- ▶ 里山・森林の保全
- ▶ 緑や水との触れ合いの場・機会の創出



緑や水とのふれあいの場  
ビオトープ

## ② 農地の保全・活用

- ▶ 環境に配慮した農業の推進
- ▶ 食育などを通じた地産地消の推進
- ▶ 農作物への鳥獣被害の防止の推進★



ハマボウ

ウシモツゴ

## ③ 生物多様性の保全・PR

- ▶ 地域固有の動植物の周知・PR★
- ▶ 30by30の達成に向けた取組の推進★
- ▶ 外来種の生息状況の周知★

市内で確認されている珍しい動植物(例)



## 将来の目指すべき姿

### 安全安心な暮らしと地域への誇りが感じられるまち

- ▶ 公園や緑地が整備され、美しくきれいなまち並みが形成されるなど環境に配慮した都市基盤が整備され、市民満足度の高いまちとなっています。
- ▶ 公園などの広場や豊かな水辺が整備され、地域ニーズに応じた交通網が確立されるなど安全・安心で「住みたくなる」、「訪れたくなる」まちとなっています。

## 管理指標

管理指標の項目	令和17年度	現状
総合的な身近な環境に対する市民の満足度	50%	33.9%
人口に占める1日当たりの公共交通利用率 ☆	6.82%	6.45% ※令和6年度
公園など公共の広場の快適さに対する市民の満足度	35%	19.6%
海や川、水路のきれいさに対する市民の満足度 (うち小中学生の満足度)	40% (50%)	26.9% (32.0%)

※☆印の項目は毎年度、数値を把握し、その他の項目は中間見直し時等に数値を把握します。  
※現状の市民の満足度は令和7年度のアンケート調査の値

## 主な施策 ★:新規施策

### ① 環境に配慮した都市基盤の整備

- ▶ 土地の適正利用の推進
- ▶ 環境に配慮した店舗・工場などの整備推進
- ▶ 相乗りタクシー・いこまいカーの利用促進★



二の沢川水辺プラザの整備イメージ

### ② 潤いのある美しいまちづくりの推進

- ▶ 緑と潤いのある公園整備
- ▶ 二の沢川水辺プラザの整備
- ▶ 都市景観の保全



三河湾の黒真珠と言われた佐久島の黒壁集落の景観

### ③ 住みやすい住環境の創造

- ▶ 自然災害の頻発化等に関する啓発★
- ▶ 環境調査の実施
- ▶ 水質汚濁の防止



## 将来の目指すべき姿

### 市民・事業者・行政・地域団体等がつながるまち

- ▶ 市民、事業者、行政、地域団体などあらゆる主体が環境保全活動や環境美化活動などの環境活動に積極的に参加するとともに、相互に信頼しあい連携が加速し、環境に配慮した活動が定着した社会となっています。
- ▶ 各主体の環境活動がSNS等で広く発信され、環境に役立つ情報へのアクセス・理解がしやすいまちとなっています。

## 管理指標

管理指標の項目	令和17年度	現状
環境学習講座の開催数 ☆	10回	5回
環境学習の場・環境保全活動への参加機会に関する市民の満足度	25%	13.9%
環境保全や美化活動に参加している市民の割合 (うち小中学生の割合)	41% (56%)	25.9% (41.0%)
環境に関する知識を身に付けている市民の割合	69%	55.0%

※☆印の項目は毎年度、数値を把握し、その他の項目は中間見直し時等に数値を把握します。  
※現状の市民の満足度及び割合は令和7年度のアンケート調査の値

## 主な施策 ★:新規施策

### ① 環境教育・環境学習の推進

- ▶ 地域における環境教育の推進
- ▶ 環境教育に活用できる情報の充実・発信★
- ▶ 環境学習講座の開催



環境Wave21のイベント風景

### ② 環境活動の連携・協働・共進

- ▶ 海や川での環境美化活動の推進
- ▶ 佐久島ブルーカーボンの推進
- ▶ 生き物ふれあい会・干潟観察会など体験型学習の推進★



川と海のクリーン大作戦

### ③ 環境情報の収集・発信

- ▶ 環境に関する情報の収集
- ▶ SNSや広報紙等を活用した環境情報の効果的な発信★
- ▶ 環境施策の評価、公表

## 取組チェックシート

- ▶ 環境ビジョンの実現に向けては、市民・事業者の協力が不可欠であることから、以下のとおり取組をわかりやすく整理しました。

### 市民における取組

分野	取組内容
脱炭素・暑さへの適応	<input type="checkbox"/> 冷暖房の適正温度の設定など脱炭素につながる行動を積極的に実践する。
	<input type="checkbox"/> 家電を購入する際は、統一省エネラベルなどを確認し、光熱費も意識して購入する。
	<input type="checkbox"/> 自動車を購入する際は、電動車などの次世代自動車を積極的に選択する。
	<input type="checkbox"/> 住宅の新築、増改築時は、省エネルギー性能の高い住宅とする。
	<input type="checkbox"/> 電力契約を再生可能エネルギーで作られた電気によるメニューへの切替を検討する。
	<input type="checkbox"/> 災害時にも役立つ太陽光発電システム、蓄電池などを積極的に導入する。
	<input type="checkbox"/> 洪水ハザードマップや防災マップを確認し、避難場所を把握する。
	<input type="checkbox"/> 外出時はこまめな水分補給を心がけ、猛暑の時はクーリングシェルターも活用する。
資源の循環・有効活用	<input type="checkbox"/> 排出ルールに従ってごみの分別を行い、資源リサイクルに協力する。
	<input type="checkbox"/> マイバック、マイボトルを持参し、ごみのもとになるものを買わない、もらわない。
	<input type="checkbox"/> 買い物や外食の際は、食べきれる量を購入・注文するなど食品ロスを削減する。
	<input type="checkbox"/> 不用になった製品は資源の集団回収、フリーマーケットなどで再利用する。
	<input type="checkbox"/> 生ごみの水切りを習慣化するとともに、たい肥化に取り組む。
	<input type="checkbox"/> ポイ捨てをしないなど、マナーの向上を心掛ける。
	<input type="checkbox"/> 不法投棄を防止するため土地を適正に管理する。
<input type="checkbox"/> 使い捨てプラスチックはなるべく使わないようにし、プラスチックごみを出さない。	
自然との共生・ふれあい	<input type="checkbox"/> 緑のカーテンの設置など庭やベランダの緑化に努める。
	<input type="checkbox"/> 里山保全や自然観察会への参加など、動植物や身近な自然にふれあう。
	<input type="checkbox"/> 地域で採れた食材など地産地消を心掛ける。
	<input type="checkbox"/> 地域に生息・生育する生き物を知り、大切にする。
	<input type="checkbox"/> 外来生物を持ち込んだり、地域へ放したりしない。
	<input type="checkbox"/> 生物多様性や外来生物が地域の生態系に与える影響を理解する。
地域への愛着・快適さ	<input type="checkbox"/> 路上喫煙、吸い殻やごみのポイ捨てをしないなど、マナーを守る。
	<input type="checkbox"/> 野焼き、騒音、振動、悪臭などで近隣に迷惑をかけないように心掛ける。
	<input type="checkbox"/> ペットのフンはきちんと持ち帰り、まちを衛生的に保つ。
	<input type="checkbox"/> 公園や緑地を散策し、地域の豊かな自然を楽しむ。
	<input type="checkbox"/> 洗剤は適量にして油は流さないようにする。
みんなで連携・協働・共進	<input type="checkbox"/> 環境に関する情報を積極的に収集し、理解を深める。
	<input type="checkbox"/> 環境教育・学習プログラム、講習会、イベントなどに積極的に参加する。
	<input type="checkbox"/> 環境問題について学んだことや考えたことについて、家族や学校等で話し合う。
	<input type="checkbox"/> 環境に関する本や記事などを読むことで環境に関する理解を深める。
	<input type="checkbox"/> 地域の環境の維持管理や、清掃・美化活動などに取り組む。
<input type="checkbox"/> 地域で環境に配慮している事業者や地域の団体を応援する。	

## 事業者における取組

分野	取組内容
脱炭素・暑さへの適応	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 脱炭素経営の実践に向けて、具体的な取組を推進する。</li> <li>□ 脱炭素に関する情報収集のため、脱炭素経営セミナーなどに積極的に参加する。</li> <li>□ 社用車を購入する際は、電動車などの次世代自動車を積極的に選択する。</li> <li>□ 事業所の新築、増改築時は、省エネルギー性能の高い建築物とする。</li> <li>□ 電力契約を再生可能エネルギーで作られた電気によるメニューへの切替を検討する。</li> <li>□ 災害時にも役立つ太陽光発電システム、蓄電池などを積極的に導入する。</li> <li>□ 洪水ハザードマップや防災マップを確認し、避難場所を把握する。</li> <li>□ 暑さ指数(WBGT)を確認し、熱中症に備えるなど従業員などの健康管理に努める。</li> </ul>
資源の循環・有効活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 資源とごみを分別し、適正に排出する。</li> <li>□ 法令を遵守し、ごみの排出量を低減するとともに適正な処理をする。</li> <li>□ 会議資料をペーパーレス化するなど、用紙類を削減する。</li> <li>□ 生産、流通、販売時のプラスチックの使用抑制、過剰な包装を抑制する。</li> <li>□ グリーン調達基準に適合した製品、エコラベル製品などを購入・利用する。</li> <li>□ 食品廃棄物を削減するとともに、たい肥化など有効利用を検討する。</li> <li>□ レジ袋やストローなどの使い捨てプラスチック製品の使用や提供削減に努める。</li> </ul>
自然との共生・ふれあい	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 生き物の生息空間としての機能に配慮し、敷地や建物の緑化に努める。</li> <li>□ 生物多様性に配慮したみどりの保全・創出に努める。</li> <li>□ 地域や行政が行う緑化活動や、みどりの維持管理活動へ参加・協力する。</li> <li>□ 事業所内のみどり空間を開放するなど、地域と一緒に楽しめる活動を行う。</li> <li>□ 循環型農業など環境に配慮した農業に取り組む。</li> </ul>
地域への愛着・快適さ	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 大気や水など環境汚染防止に関する法令を遵守し、継続的な環境保全に取り組む。</li> <li>□ 事業所の操業状況や化学物質の使用状況、公害防止の取組などについて開示する。</li> <li>□ 建設工事などによる騒音・振動などの発生を抑制する。</li> <li>□ 西尾市域の自然環境の良さをSNSや動画などで発信する。</li> <li>□ 定期的に周囲の清掃活動を行うなど環境美化に努める。</li> </ul>
みんなで連携・協働・共進	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 自社の環境への取組を環境報告書などで積極的に公開する。</li> <li>□ 従業員への環境教育や地域住民向けの環境講座を実施する。</li> <li>□ 従業員研修や社会貢献活動の一環として、環境学習や環境活動を実施する。</li> <li>□ 地域の環境保全活動に参加、協力する。</li> </ul>

第3次西尾市環境基本計画【概要版】  
令和8年3月発行  
編集・発行 西尾市 環境部 環境保全課  
TEL 0563-65-3881 FAX 0563-65-3880

